

# 信濃川



# 両川歴史路地巡り

さあ！地図を持って出かけよう！！



昭和30年代初頭酒屋町

じいちんか昔し  
電報配達してヒヂ  
タジナにたらかはれひ  
同じとこグルグル  
歩かされたン廟いニワ。



高速の側道が  
出来前  
たとんで見つけた  
一匹の蟹  
忘れるがないナ。

昔使っていた  
大きな振りごたつり  
江南区郷土資料館食室に  
寄附いたよ  
もう1つは倉にあつたかア…



ずーと昔ひ。  
街なかで  
ニセの市が  
あつたんだよ



昔のオストが  
3ヶ月もあっし。  
しかも現役!!



昭和30年代初頭の酒屋露天市

写真提供 戸松清一氏

## 水と土の 芸術祭 ■

Water and Land  
Niigata Art Festival 2018



寛永十六年の横越島絵図によると割野、嘉瀬、酒屋、花ノ牧、和田村新田、前潟、前潟村新田、平加の各村の名前が書かれている。

江戸時代の初期には、両川のほとんどの村が成立していたことが裏付けられる。

酒屋は1798年より預かり領となることなく、明治維新を迎えた。会津領であった時期はわずか4年であったが、この頃会津そして津川との交流は、阿賀・小阿賀の二つの川を通じて密接となり、明治以降の繁栄の基礎が築かれたと言われている。

酒屋は、「酒屋町」と呼ばれてきたように、船付場を中心に市を開き、近郷から人々を集めの町場になった。

船付場あるいは荷揚場の近くの土手町には旅人宿や料理屋など筏師や船頭相手の華やかな町ができた。

\*両川郷土読本より抜粋

地図を手にとって下さった皆さま

この度は両川歴史路地巡りをご覧いただきありがとうございます

これを機会にぜひ貴方のお住まいの地域を見直してみませんか

過去・現在・未来にきっと新しい発見があるはずです